
あれは正義で、これは悪で…

スレイブ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あれは正義で、これは悪で…

【Zマーク】

Z2031Q

【作者名】

スレイブ

【あらすじ】

目付きが悪い、

直ぐに手が出る、運がないそれ以外は普通の奴だった。其なのに何故？

何故、俺はヒーローどもと戦つてゐ…？

ひょんな事から日常が
非日常になっちゃった？

はあ～マジで最悪だあ？

俺は悪の組織の幹部

キン、キン、ガツキン！！

金属がぶつかり合う……。目の前の相手は叫ぶ！！

「貴方はいつたい何者なの！？」

「悪いが答える必要はない」

爆発、悲鳴が鳴り響く中、俺と女は刀と杖をぶつけ合った。

キン、ガツキン

ただ、相手を倒すために…

しかし、邪魔が入った。

「ハツハハハ！」

「誰が呼んだか赤き牙」

「風を切り裂く青き翼」

「大地揺らめく黒き鼓動」 「「我ら閃光の如く現れる」」

「ファングレッド！！」

「バードブルー！！」

「エレファントブラック！！」

ヒーローどもが来やがった！！

「今日は此方が不利のようだな、退散させてもらひつ

パチンと指を鳴らすと
ボコッボコと影から
出でくる黒い奴ら…。

ヒーローどもと戦つてゐ内に俺はコリコリと影の中に
消えていった…。

俺は安全を確認すると、
後ろから声をかけられた。

「（）苦労様、どう？新しい身体の調子は、戦闘員の時より大分動き
やすいでしょ」

何て軽く言われたが

冗談ではない？

こつちは命がけなのだから

「ハイ、

此が今日の日給ね！－！

「ああ

「そつけないわねえ、

これから忙しくなるから頑張つてよ

「はあ～分かつたよ？」

「じゃあ、もう帰つて良いわよ、幹部殿

俺はその言葉を聞きながら扉を開けた。

空を見ると日が落ち、
月が綺麗だった。

「何でこうなったかなあ
俺はボツリと呟いた…。」

正義と悪と日常と

キン、キン、ガツキン！！

金属がぶつかり合う。……。目の前の相手は叫ぶ！！

「貴方はいつたい何者なの！？」

「悪いが答える必要はない」

爆発、悲鳴が鳴り響く中、俺と女は刀と杖をぶつけ合った。

キン、ガツキン

ただ、相手を倒すために…

しかし、邪魔が入った。

「ハツハハハ！」

「誰が呼んだか赤き牙」

「風を切り裂く青き翼」

「大地揺らめく黒き鼓動」 「「我ら閃光の如く現れる」」

「ファングレッド！！」

「バードブルー！！」

「エレファントブラック！！」

ヒーローどもが来やがった！！

「今日は此方が不利のようだな、退散させてもらひつ

パチンと指を鳴らすと
ボコッボコと影から
出でくる黒い奴ら…。

ヒーローどもと戦つてゐ内に俺はコリコリと影の中に
消えていった…。

俺は安全を確認すると、
後ろから声をかけられた。

「（）苦労様、どう？新しい身体の調子は、戦闘員の時より大分動き
やすいでしょ」

何て軽く言われたが

冗談ではない？

こつちは命がけなのだから

「ハイ、

此が今日の日給ね！－！

「ああ

「そつけないわねえ、

これから忙しくなるから頑張つてよ

「はあ～分かつたよ？」

「じゃあ、もう帰つて良いわよ、幹部殿

俺はその言葉を聞きながら扉を開けた。

空を見ると日が落ち、
月が綺麗だった。

「何でこうなったかなあ
俺はボツリと呟いた…。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2031q/>

あれは正義で、これは悪で…

2011年12月31日19時51分発行